

第7回 ティーンズ委員会大賞



フィクション部門大賞

藍色時刻の君たちは

前川 ほまれ／著 東京創元社



ノンフィクション部門大賞

嫌いな教科を好きになる方法、
教えてください!

河出書房新社／編 河出書房新社

「藍色時刻の君たちは」

前川 ほまれ／著 東京創元社



あらすじ

宮城県のある港町に暮らす高校2年の小羽は、統合失調症を患う母を抱え介護に忙殺されていた。
青葉という女性が小羽の孤独に理解を示し、前向きな日常を過ごせるようになっていった矢先、震災によって全てが一変してしまい…。

委員会メンバーの感想

- ・3.11のとき、今の中高生はまだ小さかったので覚えてない人もいると思う。
- ・母からきいていて知っているが、調べることは今までなかった。身近なことに感じて興味深かった。
- ・震災を遠くに感じていたけど、今自分がいる場所でこんなことが起きていたんだ、と感じた。
- ・ティーンズ大賞をきっかけに知らない世界を知って欲しいと思う。

「嫌いな教科を好きになる方法、教えてください!」

河出書房新社／編 河出書房新社

あらすじ

嫌いな教科を無理に好きになる必要はないけれど、何かのきっかけで「嫌い」がやわらいで「好き」が増えたら、人生はもっと楽しくなるかも。
中学校で習う5教科+実技教科を「思わず学びたくなる」ような話を、その教科が好きな人や、関連する分野の仕事をしている人、学んだことを活かして活躍している人などが語ります。



委員会メンバーの感想

- ・数学の勉強をするのが少し楽に感じられるようになった。受験の事だけではなく、その先のことも考えて勉強できるようになった。
- ・数学が苦手だけど、こういう捉え方があるんだと思った。
- ・いろんな教科について書かれているので、読みたい教科だけでも読んでほしい。



こっちもおすすめ! 最終候補作



「あの子のことは、なにも知らない」

栗沢 まり／作 ポプラ社



委員会メンバーの感想

- ・とても読みやすく、身近な世界の中にも知らないことがあると感じた。
- ・読書が苦手な人にもおすすめ。
- ・作中に出てくる黒いページに注目してみて!

「あなたの言葉を」

辻村 深月／著 毎日新聞出版



委員会メンバーの感想

- ・「かがみの孤城」で有名な辻村深月さんのエッセイ。普段は読まないジャンルかもしれないが、手に取ってほしい。
- ・本を読まない子・読んでいる子どもどちらにもおすすめしたい。

ティーンズ委員会とは?



小平市の図書館をティーンズ世代にもっと使ってほしいという思いから、毎年、市内在住・在学の中高生を中心に活動しています。令和6年度は10名がメンバーとなり、ティーンズ世代に読んでほしい本をティーンズ委員会大賞として選びました。

問合せ

小平市立仲町図書館

☎042-344-7151

〒187-0042 小平市仲町 145